

年間指導計画と題材の配列一覧表

【6年】

指導時期	主題名	副主題名	指導内容	指導の観点
4月 交通安全	1 通学路での交通安全	1 集団での歩行	集団で歩行する際の注意点	登下校については下級生の安全を守る立場にいることを常に自覚させる。
		2 学校から帰るとき	寄り道には危険が潜むことへの理解	寄り道をすると誘拐などの危険に陥ることがあることを理解させ、寄り道をさせない。
		3 天候が悪いとき	天候が悪いときの歩行の注意点の確認	雨や強風、雪の日は普段と異なる危険があることを理解させ、下級生の安全にも配慮できるようにさせる。
		4 ふみ切	踏切の種類と安全施設の理解、踏切の渡り方	遮断機や警報機のはたらきを知り、踏切の種類に応じた安全な渡り方を理解させる。
		5 ふみ切をわたるとき	踏切事故の原因の理解と安全な渡り方の確認	踏切の事故は命に関わる大きなものになることを理解させる。
		6 夜間の横断	夜間の道路が危険であることへの確認	夜間の交通死亡事故が多いことを知り、事故に遭わないように安全に留意することができるようにさせる。
5月 生活安全	2 防犯、生活での安全	1 地域について知ろう	地域の危険な箇所の確認	地域の安全マップをもとにして安全な場所を確認させる。
		2 暗い道	暗くなってから帰宅する際の注意点	夜道を帰るときに注意することを考えさせる。
		3 見えにくいところ	身近にある人の目の届きにくいところの危険の確認	人の目の届きにくいところに立ち入ることの危険を理解させる。
		4 家に入るとき・エレベーターに乗るとき	一人で自宅に帰るときへの注意	エレベーターの危険、玄関を開けた瞬間の危険を理解させ、周囲の安全を確認できるようにさせる。
		5 はなか街	繁華街に潜む危険と注意点の確認	繁華街に潜む危険を理解させ、危険に遭遇したときに助けを求めることができるようにさせる。
		6 薬物（シンナー・覚せいざいなど）	薬物の害の理解	薬物が人間の体にどのような害を与えるかを理解させ、薬物には絶対に手を出さない態度を育成する。
6月 災害安全	3 自然による災害	1 台風・かみなり・たつまき	自然災害による被害の大きさの理解	自然災害による被害の大きさを理解させ、身を守る態度を育成する。
		2 火山のふん火	火山の噴火による被害の理解	火山活動がもたらす様々な被害を知り、被害を最小限に食い止めようとする態度を育成する。
7月 生活安全	4 夏に注意すること	1 熱中しょう	熱中症の原因と応急手当	熱中症が起こりやすい状況を知るとともに、応急手当の方法を確認させる。
		2 し外線のないきょう	紫外線がおよぼす人体への影響	紫外線から肌を守る必要を理解し、紫外線から身を守るができるようにさせる。
		3 冷ぼう病	冷房機器の正しい使い方の理解	不適切な冷房機器の使用によって生じる体調不良を知り、正しい冷房機器の使い方を確認させる。
9月 災害安全	5 災害に強いまちづくり	1 ハザードマップ	安全に避難するための正しい情報の入手	各種の災害に対応して作成されたハザードマップを読み取らせ、安全に避難できるようにさせる。
		2 災害に備えよう	災害に対する日頃からの準備の必要性の確認	日頃から防災意識を持つようさせ、被害を小さくとどめようとする態度を育成する。
		3 ひ難場所とひ難所	避難する場所の確認と避難所での心がけ	各自の避難場所、避難所を確認させるとともに、避難所におけるルールやマナーを確認し、自分の役割を自覚させる。
		4 大きな災害で負う心の傷と助けを求めることの重要性の理解	大きな災害によって精神的なダメージを負ったときに、速やかに助けを求めてケアしようとする態度を育成する。	
10月 生活安全	6 学校生活でのけが	1 校舎のまわり	危険な行為によって生じる事故の回避	校舎の外の危険箇所や危険な行為を確認させ、安全に過ごそうとする態度を育成する。
		2 屋上で遊ぶとき	屋上で遊ぶときの危険の理解	屋上で事故の実態を知り、屋上で遊ぶときには、安全な利用のきまりを順守することを徹底させる。
		3 学習時間中などのけが	学習時間中の事故の原因と危険な行為の理解	けがが発生したときの具体的な事例をもとにして、安全な学習の仕方を身につけさせる。
		4 宿舎で過ごすとき	宿舎での安全で楽しい集団生活の送り方	楽しい宿泊だからこそ、きまりを守って安全に行動することを徹底させる。
		5 けがを減らすために	けがが多い状況と場所の理解とけがを予防する工夫	けがが起こりやすい状況や場所を知ることにより、けがを防ごうとする態度を育成する。
		6 けがの手当	けがの手当の理解	打撲、ねんざと歯のけがの手当の仕方を身につけさせる。
11月 交通安全	7 自転車の安全	1 歩道を走行することの危険	自転車で走行する際の歩道上にある危険の理解と予測	自転車で走行する際に注意すべきことを確認させ、潜む危険を予測できるようにさせる。
		2 停車中の自動車のわきを走行することの危険	進路が中央車線側にふくらむ際の危険の理解と予測	後ろから来る自動車や対向車などの危険を理解させ、潜む危険を予測できるようにさせる。
		3 減速した自動車の左側から追いつくことの危険	左折しようとしている自動車の危険の理解と予測	自動車の合図を読み取ることによって自動車の動きを予測できるようにさせて、危険を回避できるようにさせる。
		4 こんな乗り方も危険	乱暴な走行、違法な走行の危険性の確認	それぞれの場面でのような自転車の乗り方をしたらよいかを考えさせる。
		5 自転車の安全点検	自転車の安全点検の仕方	点検を怠った自転車による事故を具体的に説明し、安全点検の重要性を確認させる。
		6 交差点の走行の仕方	正しい左折と右折の仕方の確認	信号機のある交差点と信号機のない交差点での安全な左折と右折の仕方を確認させる。
12月 交通安全	8 乗り物の安全	1 自動車の内輪差と死角	自動車の左折時の事故と自動車の死角の理解	自動車の内輪差による事故の可能性と自動車の死角による危険を理解させる。
		2 自動車の合図	自動車の合図の理解	自動車の合図の意味を理解して、事故防止に役立てられるようにさせる。
		3 車内の安全設備	自動車、電車、バスの安全設備の理解	つり革、手すり、シートベルトなどを適切に利用し、事故を防ごうとする態度を育成する。
1月 生活安全	9 安全な暮らし	1 大雪で集団登下校になったら	雪の日の危険を知り、下級生の安全を守って下校する際の注意点	大雪によって集団下校するときの危険を理解し、下級生の安全を守りながら無事に帰れるようにさせる。
		2 冬の危険	冬に特有の危険についての理解	火遊び、氷った池や積もった雪、自動車のスリップ事故の危険を確認させ、危険を避ける行動がとれるようにさせる。
		3 たいへん！ こんなときどうする？	不審者や急病人を見かけたときの適切な対応の確認	不審者や急病人を見かけたときの対応の仕方と通報の方法について理解し、適切に対処できるようにさせる。
		4 応急手当	心肺蘇生やAEDの重要性の確認	心肺蘇生やAEDの重要性を知り、早急な救助が必要なときに適切に助けを求めることができるようにさせる。
		5 集団感染	感染症予防に関する理解	感染症を予防するために積極的に取り組む姿勢を育成し、集団感染を防ぐことを心がけさせる。
2月 生活安全	10 電話とインターネットの安全な使い方	1 不審な電話	不審な電話がかかってきたときの対応	不審な電話がかかってきたときの対応の仕方を確認させ、安全に配慮した対応ができるようにさせる。
		2 けい帯電話	携帯電話を使用するときの注意点の理解	周囲の人に迷惑をかけない携帯電話の使い方を確認させ、事故やトラブルにつながる使い方について考えさせる。
		3 インターネットの危険を知ろう	インターネットの危険な側面の理解	インターネットにある危険な側面を理解し、安全に使用できるようにさせる。
		4 インターネットの特ちょう	インターネットに潜む危険の理解	インターネットは便利である反面、安易な使用が取り返しのつかないような過ちにつながることを理解させる。
		5 伝える方法によって、伝わり方がちがってくるね！	相手を思いやりながら言葉を伝えようとする態度の育成	メールを原因としたトラブルの多さを理解し、相手を思いやって言葉を伝えられるように心がけさせる。
		6 情報を発信するときには	発信者としての自覚と責任の理解	インターネットを通じて情報を発信するときには、発信者としての自覚と責任がもてるようにさせる。
		7 公開すると危険な情報（個人情報）	個人情報を伝えることの危険の理解	個人情報を書き込むことは危険を招き寄せる行為であり、絶対に書き込んではいけないことを理解させる。
		8 安心して使うために	インターネットを使うときのルールと危険の防止	ルールを守らせるとともに、フィルタリング機能を利用して、安全にパソコンを使えるようにさせる。
3月 災害安全	11 地しん	1 日本は地しんの多い国	日本が大きな地震が発生しやすい国であることへの確認	大きな地震が発生しやすい地域であることを理解し、日頃からの地震対策が重要なことを実感させる。
		2 日本のおもな地しんのひ害の様子	地震の被害の大きさの理解と身の守り方の確認	地震の被害の様子を知って防災意識を高め、頭と体の守り方を確認させる。
		3 地しんの後には、つ波が来る	二次災害に対する心がまえの必要の理解	津波の被害の大きさを知り、注意報や警報を避難に生かそうとする態度を育成する。
		4 つ波からひ難する	津波が大きくなるしくみと津波からの避難の仕方	津波が大きくなるしくみと津波の特徴を知り、安全な高台に避難できるようにさせる。
		5 そのほかのひ害	地震に続いて発生する二次災害の理解	地震による被害が揺れによるものだけではないことを知り、二次災害にも安全に対処できるようにさせる。
		6 わたしたちにもできること	避難した先での自分の役割の確認	自分の役割や責任を自覚して、積極的に地域の人たちのために活動しようとする態度を育成する。
	学んだことをふり返ろう		1年間の振り返り	チェックポイントは重要な点なので、できなかったところを知り該当箇所を振り返らせる。